

流尾真衣リサイタルシリーズ



出演

流尾 真衣
(チェンバロ・オルガン)

ゲスト
谷口 洋介
(テノール)

"Profilo"

第2回「バッハ 若き日々 ～2つの写本から～」

2023 年

7 月 29 日 (土)

2 回公演 (同一プログラム)

① 12:00 開演 (11:30 開場)

② 15:00 開演 (14:30 開場)

松本記念音楽迎賓館
A ホール

プログラム

- J.S. バッハ
トッカータ ニ長調 BWV912
カプリッチョ 「ヨハン・クリストフ・バッハをたたえて」
ホ長調 BWV993
ファンタジア イ短調 BWV922
コラール前奏曲「暁の明星のいと美しきかな」 BWV739
カンタータ第 106 番「神の時は最上の時なり」 抜粋
- J.J. フローベルガー トッカータ ニ短調 FbWV102
- D. ブクステフーデ プレリュード ト短調 BuxWV163
- G. ベーム 組曲第 2 番 ニ長調 ほか

※都合により曲目が変更になる場合がございます。ご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット料金

一般 3,500 円 / 学生 2,000 円

アーカイブ配信視聴チケット 2,500 円

(配信期間 2023/8/12 10:00～2023/9/12 23:59)

プレイガイド

- メール info.corrente.musica@gmail.com
①御氏名 ②枚数・券種 をご明記のうえお申し込みください。
追ってお支払い方法、当日受付方法をご案内いたします。
- 東京古典楽器センター 03-3952-5515
- Yahoo!PassMarket
「流尾真衣」で検索・または
右記 QR コードからアクセス



お問い合わせ

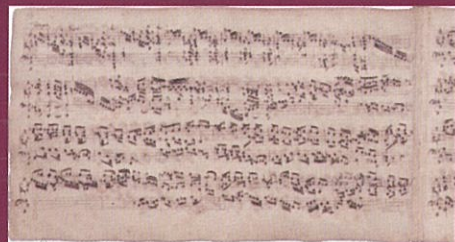
メール info.corrente.musica@gmail.com



10歳までに相次いで両親を亡くし、孤児となったヨハン・セバスチャン・バッハ。死が身近であった時代とはいえ、まだ幼い子供にとってこの喪失はどれほど辛いことであっただろうか。オールドルフでオルガニストをつとめていた長兄ヨハン・クリストフに引き取られ音楽の手ほどきを受けたバッハ。月明かりのもと、数ヶ月に渡って兄の楽譜コレクションを筆写したエピソードは有名です。バッハはその後リュネブルク、アルンシュタット、ミュールハウゼン、ヴァイマル……と各地を転々としながら、音楽の腕をたよりにその人生を歩んでいきます。

《平均律クラヴィーア曲集》《インヴェンションとシンフォニア》《フランス組曲》など、こんなにピアノでもよく演奏されるバッハの鍵盤作品。しかしこれらはみな30代以降の円熟期の作品です。バッハは若い頃、どんな作品を書いていたのでしょうか？どんな人物、どんな作品と出会っていたのでしょうか？

今回は兄ヨハン・クリストフが筆写したとされる『メラー写本』『アンドレアス・バッハ写本』を中心に、バッハ30歳頃までの作品をお届けします。



トッカータ BWV912(初期稿) メラー写本より



流尾真衣 Mai Nagareo (チェンバロ・オルガン)

東京都出身。4歳からピアノをはじめ、バッハの作品がきっかけとなり14歳からチェンバロを始める。東京藝術大学音楽学部古楽科に入学後はチェンバロでのソロおよびアンサンブル演奏のほか、オペラ等声楽作品のピアノ伴奏にも積極的に取り組む。同大学院修士課程在学中はG.フレスコバルディのトッカータと当時のマドリガーレとの関係についてまとめるなど、言葉と音楽の関わりを中心に研究した。現在はバロック音楽を軸としながらも作品の時代・ジャンルにとらわれず活動を展開。演劇、舞踊のほか近年では特に美術作品とのコラボレーションも多く、これまでにそごう美術館、神奈川県民ホールギャラリーにてJ.フェルメール、ウィリアム・モリス、大山エンリコイサムなど様々な時代の作品空間とリンクしたプログラムを演奏、好評を博した。また、0歳から聴けるバロックコンサートや学童期の子どもたちへのレッスンにも取り組む。2021年、ソロリサイタルシリーズ"Profilo"をスタート。

チェンバロと通奏低音を鈴木雅明、大塚直哉、上尾直毅、平野智美、Christine Schornsheimの各氏に師事。ニコラス・パール、グレン・ウィルソン、リナルド・アレッサンドリーニ各氏のマスタークラスを受講。オルガンを徳岡めぐみ、小島弥寧子、アンサンブルを鈴木秀美、若松夏美、福澤宏の各氏に師事。東京藝術大学より安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。在学中より現在までバッハ・コレギウム・ジャパンの合唱練習伴奏者を務めるほか、2022年からはヘンデル《メサイア》、J.S.バッハ《マタイ受難曲》公演等に出演。アルル音楽教室チェンバロ講師、アンサンブル室町メンバー、日本チェンバロ協会会員。



ゲスト：谷口洋介 Yosuke Taniguchi (テノール)

国立音楽大学声楽科卒業。1998年以来、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の数多くの演奏会やバッハのカンタータ全曲録音などに参加し、現在もソリストおよびコーラス主要メンバーとして活躍中。1999年、クラウディオ・モンテヴェルディ作曲「聖母マリアの夕べの祈り」でソロデビュー。バッハの諸受難曲におけるエヴァンゲリストや、ヘンデルのメサイアなどソリストとして安定した歌唱に定評がある。2002年結成以来、声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」主要メンバーとしても活動中。モンテヴェルディのマドリガーレ全曲録音などに参加し、発売されたCDは常に高い評価を得ている。2022年度ペンクラブ音楽賞アンサンブル・合唱部門受賞。

リサイタルシリーズ“Profilo”とは？

【profilo】[名](男)

- 1 輪郭
 - 2 横顔、プロフィール
 - 3 側面、観点
 - 4 (建築物、船体の) 縦断面(図)、側面図；(地層の) 断面図
 - 5 簡単な人物紹介、人物評
 - 6 緑取り、緑飾り、笹緑
 - 7 彫刻刀
- (伊和辞典 2版)

何百年も前に生まれ、時を越え国を越えて愛されてきた作品たち。チェンバロが奏でる音楽を通して、国と時代、作曲家、そして音楽の「横顔="Profilo"」を見つめるシリーズです。

松本記念音楽迎賓館

東京都世田谷区岡本 2-32-15

Tel.03-3709-5951 (午前10時～午後5時)

- 東急田園都市線「二子玉川」駅 東口4番乗り場
東急バス「玉31系 成城学園前駅行き」バス停
「岡本三丁目」下車 徒歩5分
- 小田急線「成城学園前」駅 南口2番乗り場
東急バス「玉31系 二子玉川駅行き」バス停「岡本三丁目」下車 徒歩5分



MAP

※ 駐車場のご用意はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。